

産業廃棄物処理計画書

2017年6月29日

福山市長 様

提出者

住所 福山市丸之内1丁目4-1

氏名 株式会社鈴木工務店
代表取締役 鈴木章平

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 084-922-1011

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社鈴木工務店
事業場の所在地	福山市丸之内1丁目4-1
計画期間	2018/4/1～2019/3/31

当該事業場において現に行っている事業に関する事項 **別紙1, 2のとおり**

①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	資本金 9,800万円 完成工事費 40億円
③従業員数	63名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	各作業所単位で委託契約を結び、収集運搬及び処理を委託する。 各作業所で契約に基づきマニフェストを発行し、回収する。 本社・品質管理室で集計を行う。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	別紙 1, 2 のとおり
(管理体制図)	
<pre>graph LR; A[各作業所] -- "委託契約 マニフェスト発行" --> B[産業廃棄物処理業者]; B --> C[各作業所]; C -- "マニフェスト回収" --> D[本社品質管理室]</pre>	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度（平成29年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず、がれき類、廃石膏ボード、石綿含有
	排出量	3,239.813 t
	(これまでに実施した取組) 各作業所で分別収集を徹底し、排出の抑制に努めた。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず、がれき類、廃石膏ボード、石綿含有
	排出量	1,000 t
	(今後実施する予定の取組) 工場等での加工を増やし、現場で切れ端等の発生を削減する。 梱包材、不要材の発生を抑える様、協力会社に依頼する。	

産業廃棄物の分別に関する事項	別紙 1, 2 のとおり
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、廃プラスチック、石膏ボード、金属くず等 集積ボックスにステッカーで表示し、分別管理する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 基本的にはこれまで通り。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 自ら再生利用はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も自ら再生利用の計画はない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
（これまでに実施した取組） 自ら中間処理はない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
（今後実施する予定の取組） 今後も計画はない。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		別紙1, 2のとおり	
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分又は海洋投入処分は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も計画はない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		別紙1, 2のとおり	
①現状	【前年度（平成 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥, 廃プラスチック類, 紙くず, 木くず, 金属くず ガラスくず, がれき類, 廃石膏ボード, 石綿含有	
	全処理委託量	3,239.813 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) すべて優良認定処理業者への委託。			

②計画	【目標】 別紙1, 2のとおり	
	産業廃棄物の種類	汚泥, 廃プラスチック類, 紙くず, 木くず, 金属くず ガラスくず, がれき類, 廃石膏ボード, 石綿含有
	全処理委託量	1,000 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者へ の処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	
すべて優良認定処理業者への委託契約予定。		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(平成 29 年度)実績量
 計画：今年度(平成 30 年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項	
	排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻										
汚泥	620.950	200								
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類	62.150	20								
紙くず	9.420	5								
木くず	156.240	30								
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず	2.825									
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	2.630	2								
鋳さい										
がれき類	2,271.178	700								
動物のふん尿										
動物の死体										
ばいじん										
廃石膏ボード	103.840	40								
石綿含有産業廃棄物	10.580	3								
合計	3,239.813	1,000	0		0		0		0	

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	処理委託に関する事項									
	全処理委託量		優良認定処理業者への 処理委託量		再生利用業者への 処理委託量		認定熱回収業者への 処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収 を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻										
汚泥										
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類										
紙くず										
木くず										
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず										
鋳さい										
がれき類										
動物のふん尿										
動物の死体										
ばいじん										
廃石膏ボード										
石綿含有産業廃棄物										
合計	0		0		0		0		0	

産業廃棄物処理計画書

2018年6月29日

福山市長 様

提出者

住所 福山市丸之内1丁目4-1

氏名 株式会社鈴木工務店
代表取締役 鈴木章平



(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 084-922-1011

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社鈴木工務店
事業場の所在地	福山市丸之内1丁目4-1
計画期間	2018/4/1~2019/3/31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙1, 2のとおり	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	資本金 9,800万円 完成工事費 40億円
③従業員数	63名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	各作業所単位で委託契約を結び、収集運搬及び処理を委託する。 各作業所で契約に基づきマニフェストを発行し、回収する。 本社・品質管理室で集計を行う。